

県中総体実施上のCOVID-19感染拡大予防対策 (生徒・保護者用)

宮城県中体連バスケットボール専門部

《 参加者が主体的に対策する習慣づくり 》

- ① 自分たちで用意できる物品は自分たちで準備する習慣
→ 手指消毒液や物品消毒液，マスクや体温計などの対策用品を，個人（各家庭）で準備する習慣，チームで準備する習慣を。
- ② 自分たちで消毒する習慣
→ 自分が，チームの仲間が使用した物の消毒は自分たちで行う習慣を。
- ③ 自分から3密を避ける習慣
→ 試合のない時間は極力屋外や広いスペースで過ごす，席を空けて観客席を使用する，換気が十分でない場所には長居しない習慣を。
- ④ 観客を制限した大会への送迎等がスムーズに行える習慣
→ 保護者との連絡をきちんとできる習慣を。
- ⑤ 試合終了後，スムーズに帰宅する習慣
→ 予定されていた試合が終了（敗退）したら，長時間会場に残らない習慣を。

1 入場制限

- ・応援については登録選手の保護者で各家庭2名までとする。兄弟や祖父母はこの枠に該当しない。また，保護者の中からチームに帯同する方を2名選出する。帯同の保護者は選手団と一緒に（試合開始1時間20分前）に入場できる。
- ・応援で入場する保護者は試合開始10分前に受付し入場することができる。入場する保護者の「入場許可証」は同行者一覧の「名札」になるので，**各校で印刷し当日持参すること**。名札に入れ、首から下げるか，シール等で見える場所に貼り付けてください。
- ・応援保護者は試合終了後，すぐに会場を出てもらう。
- ・7月23日（土）は，勝ち上がりで1日に2試合となるが，保護者においては一度必ず退場する。選手については指定のスタンド座席で待機できる。また，7月24日（日）については明らかにチーム数が少なくなっているため，試合後に保護者はチーム指定の座席で待機して構わない。
- ・ベンチ登録はしていないが，継続的にチームの指導に携わっている方（コーチ）については学校や顧問の了解を得ていれば入場を認める。その際，同行者一覧表に必ず名前が記載されていることが条件である。
- ・出場校の校長や教員，高校関係者，大会に関係している業者の入場についても認める。当専門部のHPに掲載している個人用の健康チェックシートをダウンロードし，健康状態が記入されているものを受付に提出すること。

2 大会参加（受付について）

- ・大会参加者（選手、保護者、顧問、外部コーチ、部活動指導員）の同行者一覧表の中に過去1週間の健康状態をまとめた所定のチェックシート（A4版）を顧問は集約し提出する。
- ・健康状態が記された同行者一覧表は「選手団（部員、スタッフ、帯同保護者）」のものと、「応援保護者（登録選手の保護者各家庭2名まで）」のものを別々に用意する。また、同行者一覧表は試合ごとに別々に用意し、それぞれ入場の際に提出すること。
 - ※1日に2試合ある場合→選手団は1枚提出。応援団は試合ごとに1枚ずつ提出。（計2枚）
- ・個人用の健康チェックシートについては受付に提出せず、顧問が集めて学校で保管すること。
- ・「選手団」は会場の外で、顧問が人員の確認、健康状態の確認をした上で全員揃ってから同行者一覧表を受付に提出し入場する。※自チームの試合の前の試合開始時間に入場可となる。
- ・「応援保護者」はチーム代表の方が健康状態を記された同行者一覧表を持参し、人員や健康状態を再度確認した上で受付を済ませ入場となる。※自チームの試合開始10分前に入場可となる。
- ・「健康状態が記された同行者一覧表」を提出しないチームや名前の記載がない者、チェックが入らない項目がある生徒は基本的には大会への参加自粛を要請する。ただし、医師の診断をもとに当該校の校長が参加を認める場合にはその限りではない。顧問はその際、必ず専門部への連絡を入れること。また、移動中体調を崩し受付時に体調が優れない生徒がいた場合は、入場させず帰宅することになる。
- ・顧問が競技役員や審判等で対応できない場合は、同行する保護者が代表して受付をすることができる。その際、顧問は、事前に受付担当にその旨を伝えること。それ以外は基本的に顧問が受付をする。
- ・基本的に試合をしている選手およびアップ中の選手を除いてマスクを着用すること。
- ・受付で、受付担当が入場時間、退場時間を記録するため、帰る際にも受付担当に声がけすること。
- ・「除菌チェックシート」はありません。チェックシートがなくても退場の際に自分たちが使用した座席を除菌してから帰ること。

3 選手、保護者の待機場所

- ・選手の待機場所は観客席のみとし、指定されたエリアを使用すること。指定エリアは当日受付で提示する。
- ・応援保護者が観客席に着席する際は、前後左右に1席分以上空けて着席すること。
- ・他校との距離は特に配慮してとるようにすること。
- ・選手、保護者は、帰る前に観客席などの触れたところをすべて自チームで準備した除菌シートで拭いてから退出すること。

4 セキスイハイムスーパーアリーナ会場について

- ・コンコース等へブルーシートを引いて学校毎にスペースを確保することを禁止する。
- ・試合を観戦する際は、座席に座って観戦すること。保護者も含めて立ち見は禁止とする。
- ・喫煙所を設けない。
- ・メインアリーナ2階入り口から入場し、2階入口を入った正面に受付を設置する。
- ・サブアリーナはアップ会場とし、移動については1階通路を使用すること。
- ・共用部でのマスク着用は、施設利用上必ずしなければならないため、アップ中と試合に出ている

選手以外のマスク着用を徹底すること。

5 試合前後および試合中の対応

- ・スタンド（スロープ）でアップをすることは構わないが、アリーナ後方の広い共有スペースを使用してのアップは認めない。選手同士の間隔を空けて行うこと。スタンドでのアップ内容に関してはストレッチや軽いランニングにとどめ、通行する人の妨げになったり、接触したりすることのないように配慮すること。
- ・サブアリーナでのアップに関しては割り当て時間に従って使用すること。その際、蜜を避ける観点から当日ベンチ入りする15名までが1階通路を行き来することができ、サブアリーナでアップをすることができる。
- ・メンバー表は、顧問が前の試合のハーフタイムまでにT O席に直接提出すること。生徒による提出を不可とする。
- ・スコアシートにサインをする際は、監督はペンを持参し、自分のペンでサインを行い、T O 生徒のペンを使わない。
- ・試合前に円陣を組んでの声出し等を行わないこと。出場選手での手をつないでの円陣等も不可。
- ・選手は、監督、コーチとのハイタッチも不可となります。
- ・試合中、ベンチにいる監督、コーチ、控え選手はマスクの着用を徹底すること。
- ・試合中、声を出しての応援は認めるが、応援歌を歌ったり連続した応援になりすぎたりしないよう各チーム配慮して行うこと。
- ・試合後、相手チームへの挨拶はキャプテンのみとする。
- ・試合後、選手は荷物を持ってすぐにベンチを開けること。顧問やコーチはベンチに備え付けてあるガンタイプの「除菌バスター」を使用して消毒を行うこと。（※拭き取りの必要は無い）
- ・T O席については、試合終了後、コート主任およびコミッショナーが T O 機材および椅子を除菌バスターで消毒する。
- ・試合後、できる限りすぐにマスクを着用すること。
- ・T O生徒は、必ずマスクを着用し、筆記用具を持参すること。
- ・試合後、顧問が選手に話をする場合は、ベンチ消毒やT O準備の時間を考慮した上で広い空間や外で行い、密にならないよう配慮すること。（※1階本部前通路スペースではミーティング等を行わないこと。選手が留まることが無いように指導する。）
- ・試合時間については、通常通りの1時間20分間隔で日程を組んでいる。定刻スタートが基本ではあるが、定刻を過ぎた場合の試合間は10分とする。
- ・試合後に消毒作業行われるが、ベンチの消毒作業中もフロアで次のチームがアップを開始して構わない。ベンチに荷物を置くのは、消毒作業が終わってから置くようにすること。
- ・試合に敗退したチームはT O終了後、速やかに会場を後にする。残りの試合を観戦することや、翌日の試合を観戦することはできない。最終日に試合をしたチームは敗退後も表彰式があるので、その限りではない。